



○ 草の根パートナー型

平成22年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア
2. 事業名	スバイアントー郡保健行政区における子どもの健康増進プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	カンボジア国では、5歳未満児死亡の多くが、未だ下痢や急性呼吸器感染症等、予防及び早期発見・治療が可能な病気によるものである。当会は、国内でも特に5歳未満児死亡率の高いブレイベン州の本事業対象地で、2008年3月から、母子を対象とした「包括的健康診断活動」の強化に取り組んでいる。地域の保健人材が子どもの健康問題を早期発見・対処できるようになることを目指し、活動の運営に関わる保健ボランティア、保健センター及び郡保健局への能力強化と関係者間の連携強化を行ってきた。本事業では、先行プロジェクト実施過程で明らかになった子どもの栄養状態の実態を踏まえ、5歳未満の子どもの対象として、栄養不良児率及び下痢・呼吸器疾患率の低下を目指した、コミュニティでの健康増進活動を展開する。
4. プロジェクト目標	コミュニティをベースとした5歳未満児の健康増進活動(包括的健康診断活動、保健教育、マザーサポートグループ(MSG)活動)が定着する。
5. 対象地域	カンボジア王国ブレイベン州スバイアントー郡保健行政区内5カ所の保健センター管轄区(チョンアンピル、ダムレイブオン、アンコールトレツ、サムロン、テックトラ-)79カ村
6. 受益者層	<直接受益者>スバイアントー郡保健行政区内5箇所の保健センタースタッフ31名、保健ボランティア(Village Health Supporting Group)158名、Mother Support Group約170名 <最終受益者>上記保健センター管轄区の5歳未満の乳幼児約5,800名
7. 期待される成果及び活動	<成果> 1. 5歳未満児の健康問題早期発見のための、保健センター機能が強化される。 2. 包括的健康診断実施のための、郡保健局の監督能力が強化される。 3. 子どもの健康増進のためのコミュニティ活動が強化される。 4. 低栄養児への支援体制が作られる。 5. 栄養不良児の実態が把握される。 <活動> 1. 能力強化研修実施・包括的健康活動支援・保健センター運営支援 2. 郡保健局定例会議及び保健センター監督支援 3. 保健ボランティア活動強化・MSG活動実施支援 4. 支援体制づくり 5. 調査
8. 実施期間	2013年4月～2015年9月(2年6か月)
9. 事業費	99,460千円
10. 事業の実施体制	シェア・カンボジア事務所が実施主体となり、シェア東京本部が後方支援を行う。また、本部におけるアドバイザーグループ、運営委員会、理事会が必要に応じ、専門的なサポートを行う。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 シェア=国際保健協力市民の会
2. 活動内容	アジア・アフリカ地域へ保健・医療専門家を派遣し、プライマリ・ヘルス・ケアの理念に基づいて、地域保健、エイズ対策等のプロジェクトを実施。日本国内では、医療サービスを受け難い環境にある外国人を対象に健康相談等を行う。